

魅力ある図書館づくりに向けた検討状況等について

1 主旨

区立図書館では魅力ある図書館づくりに向け、第2次世田谷区立図書館ビジョン第3期行動計画に基づき、中央図書館のマネジメント機能強化、民間活用による図書館サービスの充実、「(仮称)図書館運営協議会」の設置によるガバナンスの仕組みづくりなど、3つの取組みを中心に進めているところである。こうした魅力ある図書館づくりに向け、現在取り組んでいる進捗および検討状況などについて報告する。

2 検討状況等について

(1) 中央図書館マネジメント機能強化に向けた取組み

公共性・専門性を維持し、安定的な図書館運営やサービス水準を継続していくためには、区立図書館全体のサービス目標の進捗管理や、地域図書館、地域図書室、図書館カウンターへの支援、統合調整といったマネジメント機能が中央図書館に必要不可欠である。マネジメント機能の強化に向けて、レファレンス機能や研修機能の強化・充実などに取り組んでいる。

取組み状況は別紙1のとおり

(2) 民間活用による図書館サービスの充実にに向けた取組み

令和4年4月から指定管理者制度による管理運営を経営図書館に加え、新たに烏山図書館および下馬図書館で開始し、図書館サービスの充実に取り組んでいる。

また、令和4年3月30日には図書館ネットワークの整備・拡充を図るため、図書館カウンター下北沢を新たに開設した。

民間活用による図書館の管理運営状況は別紙2のとおり

(3) (仮称)図書館運営協議会の設置に向けた取組み

令和2年度に行った「世田谷区立図書館運営体制あり方検討委員会」からの提案を踏まえて、利用者の視点を取り入れ、図書館運営やサービス水準を安定的に確保するガバナンス機能を持つ、(仮称)図書館運営協議会の7月からの設置に向けて取り組んでいる。

(仮称)図書館運営協議会の検討状況は別紙3のとおり

中央図書館マネジメント機能強化に向けた取組み状況

マネジメント機能強化に向けて、以下のとおりレファレンス機能や研修機能の強化・充実に取り組んでいる。

1 レファレンス機能強化

国立国会図書館レファレンス協同データベースの活用

職員のレファレンス能力向上を図るため、国内の多様な事例を集めた国立国会図書館レファレンス協同データベースの活用に向け調整を進めている。

図書資料・商用データベースの充実

高度な知的探索に対応する専門的な図書資料の収集を進めている。また、インターネット閲覧により利用できる新聞記事検索等の商用データベースを充実するために、最新のビジネス情報や法令、学术论文といった情報を提供する新たなコンテンツの導入準備を進めている。

< 商用データベース新規コンテンツ >

Web-OYA-bunko (大宅壮一文庫)、D1-law (第一法規)、ジャパンナレッジ Lib (小学館) など

各種相談事業の充実

利用者の課題解決支援策として、図書館の場を活用した庁内部署との連携による相談事業を実施し、更なる相談事業の充実を検討している。

行政支援レファレンスの充実

区の政策立案や行政サービスの検討を支援する行政支援レファレンスの充実に向け、庁内周知の強化などに取り組んでいる。

地域図書館の窓口サービス支援強化の仕組み整備

地域図書館で受ける難易度の高い質問などについて、オンラインにより中央図書館で対応する窓口サービス支援強化の仕組みの整備を検討している。

2 主な年間研修計画

主催	研修名	対象	内容
中央 図書館	新任研修	新規採用職員・ 図書館転入職員	基本的な図書館業務に関する研修
	選書初級研修		選書の方法・知識のレベルアップ
	レファレンス初級 研修		初歩的なレファレンス機能の習得
	レファレンス中級 研修	図書館中堅職員	レファレンス技能（中級レベル） の習得
	司書取得研修		司書資格を取得するための講義・ 実習
	マネジメント研修	地域図書館長・ 副館長	他自治体の特色ある図書館運営事 例等の研究など
文 部 科学省	新任図書館長研修	新任図書館長	図書館管理・運営・サービス・電子 化技術等、図書館長に必要な知識 の習得
	著作権実務講習会	図書館中堅職員	実務に必要な著作権知識の習得
都 立 中央 図書館	レファレンス（テー マ別）研修	図書館中堅職員	ビジネス情報、美術情報、法律情 報、講師養成講座等
	都・図書館研究交流 会		これからの公立図書館としての各 種課題研究
	障害者サービス研修	障害者サービス 担当者	音訳技術の向上、障害者サービ スの展開
	子どもサービス研修	子どもサービ ス担当者	子どもの読書に関する講座
日 本 図書館 協会	児童図書館員養成 専門講座	子どもサービ ス担当者	児童サービスの現場で指導者・助 言者として中心的役割を担う人材 の育成

民間活用による図書館の管理運営状況

1 指定管理者制度による管理運営状況

	主なサービス拡充内容	運営状況 (令和4年4月分)
烏山図書館	○開館時間拡大 火～土曜は <u>21時まで</u> 日・月曜、祝・休日は <u>20時まで</u>	○来館者数 31,524人 ICタグゲート設置が令和3年7月のため、前年度比較不可。
	○新規サービス ・デジタルサイネージによる情報発信 ・図書除菌機の設置 ・図書館入口ショーケース内の特別展示 (「文豪 who's who」)の実施 など	○貸出数 38,966点 (前年度比101%) ○障害者施設自主生産品 売上金額 12,400円
下馬図書館	○開館日・開館時間拡大 休館日の <u>月曜を開館し</u> 、 日～月曜、祝・休日すべて <u>19時まで</u>	○来館者数 14,881人 (前年度比103%)
	○新規サービス ・デジタルサイネージによる情報発信 ・図書除菌機の設置 ・商店会・区内大学等連携イベント「三宿十の市 絵本コーナー」の実施 など	○貸出数 20,690点 (前年度比103%) ○障害者施設自主生産品 売上金額 15,240円
経堂図書館 (平成29年4月1日から指定管理者制度による運営開始)	○新規サービス ・ビジネスコーナーにおける * flier(フライヤー)による要約サービスの導入 ・区内大学連携講座「五感で学ぶ!生き物探検」の実施 など * flier(フライヤー)サービス:ビジネス書や実用書など(約2,800点以上)の要約(約4,000字)を、スマートフォン、タブレット、パソコンなどの端末により、1冊あたり10分程度で読めるインターネット閲覧サービス。	○来館者数 43,987人 (前年度比104%) ○貸出数 50,964点 (前年度比103%) ○障害者施設自主生産品 売上金額 15,250円

2 図書館カウンター下北沢の運営状況

	3月(30日・31日)	4月(1日~30日)
来館者数	827人	5,943人
貸出数	88点	6,798点
障害者施設自主生産品 物販個数	35点	143点
障害者施設自主生産品 売上金額	6,070円	26,215円

障害者施設自主生産品については、「コーヒー」、「ココア」、「クッキー」類が特に好評である。

(仮称) 図書館運営協議会の検討状況

「図書館ビジョン」の基本理念である「知と学びと文化の情報拠点」の実現に向け、区立図書館の運営に利用者の視点を取り入れ、学識経験者の見識や図書館利用者等の複数の目から図書館を点検・評価することにより、利用者ニーズに即した図書館運営や図書館サービスの向上を図ることを目的とする。

1 構成員案(20名程度)

公募区民については、2月から公募し、選考(作文・面接)を行った。今後は学識経験者をはじめとする委員候補者に依頼し委嘱する。

区分	想定人数	備考
公募区民	4名	2月から公募し、選考(作文・面接)実施済
学識経験者	3名	図書館情報学、経営学(税理士・公認会計士等)など
社会教育関係者	1名	社会教育委員・PTA役員など
教育機関	1名	区内高校・大学・特別支援学校等の教員など
図書館の活動団体	2名	おはなし会ボランティア団体の代表者など
図書館関連事業者	2名	出版事業関係者、区内生涯学習関連NPO法人など
区立小・中学校教職員	2名	学校図書館研究部会の小・中学校長など
区職員	2名	

委員の任期は2年(令和4年7月～令和6年6月)とする。

2 活動内容等

(1) 図書館運営状況の評価・検証

各地域図書館の地域特性や施設環境などを活かした特色ある運営・サービスの取組みに向けて、全区立図書館の運営状況の評価・検証する。

(2) 図書館運営・サービス等の検討・協議

区立図書館が抱える運営・サービスの課題の改善策や重点的に進めるべき取組みなどにテーマを絞って検討・協議し、魅力ある図書館づくりに活かしていく。

<令和4年度(仮称)図書館運営協議会スケジュール案>

四半期ごと年4回の開催を想定し、以下のとおり計画的に運営する。

開催時期	内容
7月	全館の前年度運営実績等報告、年間活動計画(重点的な評価項目や取組み項目の設定など)の検討
10月	図書館運営状況の評価・検証
1月	図書館運営状況の評価・検証、図書館運営・サービス(案)の検討・協議
3月	図書館運営状況の評価・検証および図書館運営・サービス(案)のまとめ、次年度予算等の報告